

ソフィア・シンポジウム Exploring a Japanese Fishing Village through Art

音楽と踊りで贈るファンタジー人形劇

青い トンチンボの夢に 月ふたつ

2025年11月15日

18:30 ~ 19:30 (開場18:00)

上智大学クルトウルハイム

使用言語:日本語

対面のみ

要登録:<https://forms.office.com/r/aS7Sc7CkLd>

最大60名

(登録者数が60名に達した時点で登録は締め切らせていただきます。お席に限りがありますのでご登録いただいた方は確実にご出席くださいますようお願いいたします。)

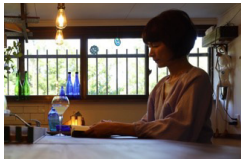
このイベントは上智大学比較文化研究所 共同研究ユニット“Exploring a Japanese Fishing Village through Art”と科研費 基盤研究(C)24K03565 Art, Environment and Sustainable Futuresが企画・開催するSophia Symposiumの一部です。(11月12日:ドキュメンタリーフィルム「北鶴島」上映会／11月16日:シンポジウム“Exploring a Japanese Fishing Village through Art”)





語り部: 石原尚大

俳優「五条霊戦記GOJOE」でデビュー。2014年からJohn Williams 監督の映画と演劇に参加。現在は演技コーチとしても活動。



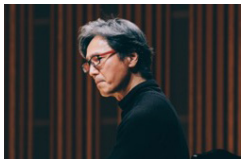
人形遣い・演出: 秋葉よりえ

NYでシアター&パペットアンサンブル グラシオブルオを立ち上げ、東京を拠点に人形創作劇を国内外で上演。10年目に解散し、現在は瞑想をテーマにパペットや自然をモチーフとするリトリートハウス「369の森サンクチュアリ」を運営しながら、瀬戸内海の離島にて創作活動続ける。



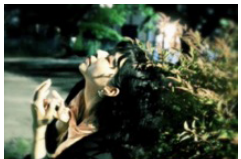
音楽: 永井晶子

(作曲家、アレンジャー、ピアニスト／アコーディオン奏者／即興演奏家) 名古屋出身。1996年に米国に移住し、バークリー音楽院を卒業しクラシックとジャズを学んで以来、米国、ヨーロッパを主に世界的に演奏活動。映画やライブパフォーマンス用のオリジナルスコアを作曲したりする多才な音楽アーティスト。彼女はキーボードの熟練をプライベート・ピアノ、アコーディオン、モーグ・シンセサイザー、エレクトロニクスと多様な才能で音楽をあやつる。www.shokonagai.net



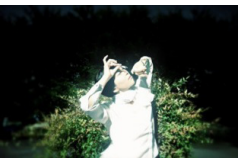
音楽: 武石聡

茨城県水戸市出身。ドラマー/パーカッショニスト/アレンジャーとして世界中で多忙な活動をしている。米国ボストンのバークリー音楽院を卒業後、南米コロンビアに4年間在住、その後New Yorkに移住。多くの音楽と人々に出会いさまざまなジャンルを横断した活動を行っている。



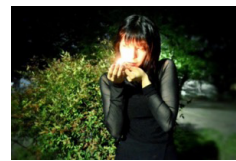
踊り: 遊舞舎 慶子

舞踏家。1999年生まれ。東京藝術大学美術研究科グローバルアートプラクティス専攻修了。舞踏を軸としたパフォーマンスユニット「遊舞舎」主宰。都市における「まれびと」的存在(自然との接続を持ち、人間の本質的な奥底を共振させ得る他者)としての舞踏の在り方を探求する。



踊り: 遊舞舎 優子

舞踏家。1999年生まれ。遊舞舎所属。お茶の水女子大学大学院在学。舞踏を中嶋夏氏、相良ゆみ氏、久世龍五郎氏に師事。舞踏や郷土芸能をはじめとした舞踊文化における思想や精神性を探求し、創作活動を実践する。



踊り・美術: 遊舞舎 珠子

(アーティスト・ドラマトゥルク) 東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻在学。民俗学の視座から、盲目の女性シャーマンである恐山のイタコとルーマニアの魔女文化を調査し、人ならざる他者への眼差しを研究。見えない他者の声に耳を傾ける姿を「祈り」として捉え、自分を媒介として、受取ったものを世界へ送りかえすため制作を行う。遊舞舎の過去作品について舞台衣装、ドラマトゥルクとして携わり、2024年より正式に遊舞舎の団員として活動を開始。水が地に落ち、やがて雨となり巡っていくように、すべてのものが円環のようにつながっていることを大切にしている。

人形遣い: 久保島麻子

桐朋学園短期大学部 演劇専攻卒業、・フリーランスで舞台を中心に活動(数年間)・劇団燐光群所属(4年間)・フリーランスとして舞台、自主制作映画、パペット遣いとして国内外の作品に参加

人形遣い: 都田かほ

(ダンスアーティスト・ファシリテーター) orangcosong(住吉山実里+藤原ちから)アソシエイトメンバー。3歳よりクラシックバレエを江川直子(貝谷八百子バレエ団)らに師事。13歳から人形劇を開始。2014年頃よりコンテンポラリーダンス・演劇での活動を開始、現在は作品創作・舞台出演と、コミュニティでの多様な背景を持つ人に向けたワークショップ進行を両輪としている。奇妙で全力な動き、その人らしさを表現へ昇華する朗らかなワークショップ進行、個人の経験に隠れた社会問題をポップに描くオリジナル作品が特徴。不在への応答／公共と介入と交換／存在への祝福が一貫したテーマ。

戯曲: ジョン・ウィリアムズ

トンチンボの仲間、イギリス、ウェールズ出身、映画監督、上智大学外国語学部教授

助監督・戯曲の翻訳・出演: 関野佳介

詩と歌の翻訳: 四元康祐

